

やまびこ館への招待

— 収蔵品展2002 —

やまびこ館のみつつの秘密

平成14年5月6日まで

資料紹介 ～三上留吉関係資料について(寄贈資料)

三上留吉(みかみ・とめきち 1897～1962)を、民謡『貝殻節』を楽譜化した郷土の音楽家としてご存じの人も多いでしょう。しかし、戦前のボーイスカウト運動において重要な地位を占めた人物であったことは、関係者以外にはあまり知られていないのではないのでしょうか。今回の収蔵品展では、音楽家、音楽教師の面だけではなく、この、知られざる三上留吉の一面を紹介しています。中でも目立つのは、昭和13年、ボーイスカウトの前身である大日本少年団聯盟がイタリアに派遣した親善使節団に、副長として参加していたことでしょう。今回は、その際の出来事をまとめた『訪伊使節の足どり』(昭和15年)や、イタリアで撮影された写真などを紹介しています。

三上が、鳥取地域の指導者としてだけではなく、日本のボーイスカウト運動の代表者の一人として、高い評価をうけていたことがわかります。



イタリアでの三上留吉
(昭和13年撮影・部分)

期間中のイベント

やまびこ講座

午後2時～(1時間程度)

定員/30人(予約制・先着順)

とき	テーマ	講師
4月7日	やまびこ館のみつつの秘密	学芸員 佐々木孝文
4月14日	鳥取城シアターこぼれ話	学芸員 森田 明子
4月21日	江戸時代の村と地域博物館	学芸員 伊藤 康晴
4月28日	映像展示で作ったCGについて	技師 飯谷 直樹
5月5日	地域博物館のありかた	学芸課長 住田 高市

ギャラリートーク

期間中の毎週土曜日 午後2時～(30分程度)

入館料 500円(小・中・高校生と70歳以上は無料)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日 月曜日が祝日の場合はその翌日
(ただし4月30日は開館します)

問い合わせ先 やまびこ館学芸課(上町88・☎23 2140)



第17回 国民文化祭・とっとり2002

夢フェスタ とっとり通信

～ふるさとふれあい夢づくり～
平成14(2002)年10月12日～11月4日



鳥取茶道連合会
理事長 垣屋宗好

茶道は安土桃山時代に「茶の湯とは、ただ湯を沸かし茶をたてて飲むばかりなることを知るべし」と言った、千利休によって大成されました。現在さまざまな流派がありますが、どの流派も利休の言葉にあるように湯を沸かし、茶をたてて飲むという一連の流れで成立しています。そして、先人の書

かれた軸を尊び、床に掛け、季節の折々の花を活けて楽しめます。

茶室においては、客も亭主も相手を大切に敬う気持ち(和敬)を第一にしており、ゆったりとした穏やかな時が流れます。ひととき心を静め、現実から心を転じ、一服のお茶を味わう……そんな時を持つことは、このめ

国民文化祭とっとり2002 「大茶会」に向かって

まぐるしく変化する世の中にあって大切なことであり、心を豊かにしてくれます。

よく、「茶道は作法が難しい」という声を耳にしますが、利休の言葉

はまた、そんなことにはとらわれず、ただお茶を飲めばよいのだということを示しているようにも思います。

鳥取茶道連合会では、現在7流派が所属しており、例年秋に市民文化祭の協賛として茶席を催しています。今年は、夢フェスタとっとり・第17回国民文化祭の「大茶会」として他の1流が加わって、8流派が10月19日・20日の両日、市内各会場で茶席を設けます。ぜひお気軽にお越しください。

